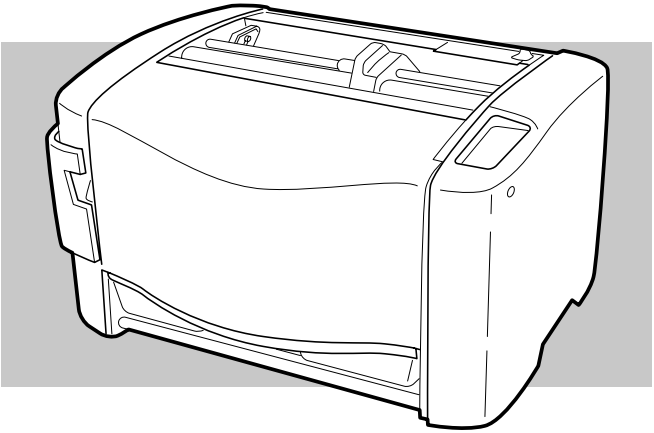
MAX

ELECTRONIC TAPE BINDER

電子製本機 TB-1000A

取扱説明書



●ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
●本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
●本書の内容に関しましては、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックス電子製本機TB-1000Aをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機はどなたにでも簡単な操作で、きれいな背貼りがすばやく行える電子製本機です。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

■表示について
この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または負傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行なってはいけないことや、物的障害のみの発生が予想され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い 本機が故障して修理が必要となることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

メモ 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照 取扱説明書のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

△ 記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

● 記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

⚠ 警 告

●本機は絶対に分解または改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

●ハサミを本体に取り付けたまま清掃しないでください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

●本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。
故障や感電、けがの原因になります。

●電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。

●電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。
コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

●水、薬品などが本機にかからないようにしてください。
故障や火災、感電の原因になります。

●電源は100V専用コンセントを使用してください。
100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。

●万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。
そのままで利用すると故障や火災、感電の原因になります。

●故障のまま本機を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。
電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。

●製本テープの交換やテープづまり、貼り付きを直す場合、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因となります。

ご使用上の注意

⚠注 意	
	●用紙挿入口には絶対に指を入れないでください。 けがの原因になります。 ●ハサミの刃先に直接指を触れないでください。 けがの原因になります。
	●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。 電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。 ●紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。 火災や故障の原因になります。
	●長時間使用しない時は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。 ●フロントドア、ごみ箱を開ける前には、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。 ●連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 本機が不意に動作した時、けがの原因になります。
	●電源プラグは定期的に清掃してください。 長い間にホコリ等がたまり、火災や故障の原因になります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。 コードが破損して、火災や感電の原因になります。 ●本機は必ず水平に設置してください。 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。 ●本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体底部を持って運んでください。 落下等でけが、故障の原因になります。

お願い 本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

●トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。
1.直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
2.ホコリや湿気の多い場所
3.傾いたり振動や衝撃の加わる場所
4.温度15℃以下、40℃以上になる場所（低温では製本テープの粘着力が低下することがあります。）

●テープは必ず「マックス製本テープTB-T36R」をご使用ください。

●本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。

目 次

1 箱の中身をご確認ください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

2 お使いになる前に 1.各部の名称 2.操作パネル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

3 製本テープのセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

4 背貼りをしましょう 操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

5 テープの長さ調整 1.用紙の右側の調整 2.用紙の左側の調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・13

6 テープの赤ランプが点灯したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

7 テープの赤ランプが点滅したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

8 ゴミ箱の赤ランプが点灯したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

9 ゴミ箱の赤ランプが点滅したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

10 ハサミの赤ランプが点灯したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

11 ハサミの赤ランプが点滅したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

12 マシンの赤ランプが点灯したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

13 マシンの赤ランプが点滅したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

14 スタンバイの緑ランプが点滅したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

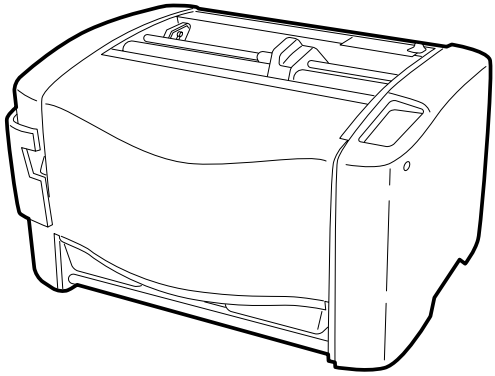
15 こんなときは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

16 主な仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

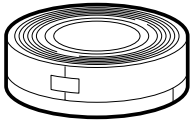
17 保証書とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

1 箱の中身をご確認ください

TB-1000A本体



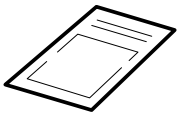
マックス製本テープ
TB-T36R（クロ）1巻



用紙位置プレート

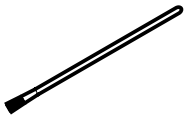
本書

お客様登録カード
兼保証書

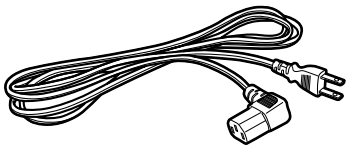


シリコングリス

筆（シリコングリス塗布用）

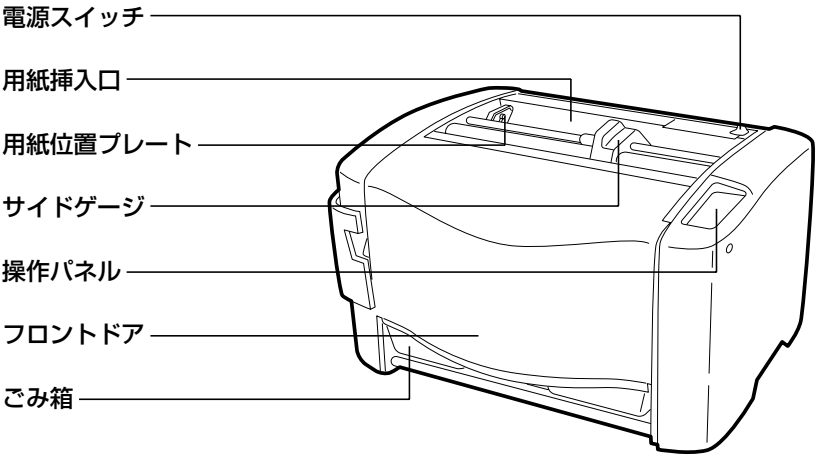


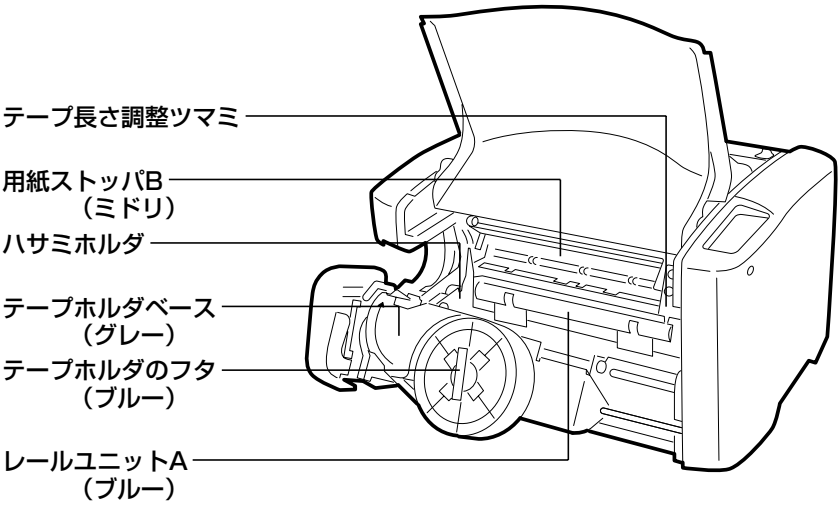
電源コード



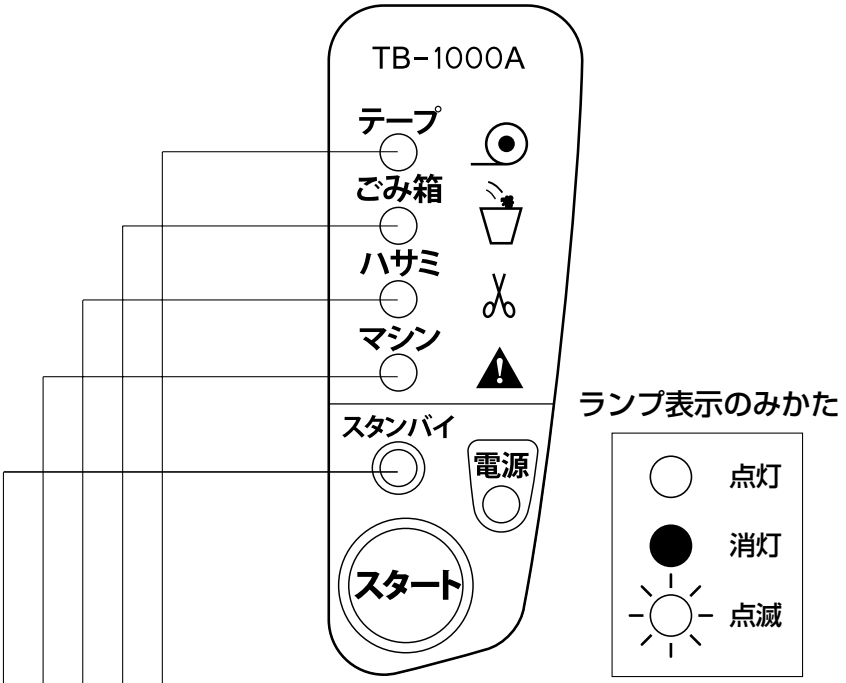
2 お使いになる前に

1.各部の名称





2.操作パネル



テープ（赤）：テープがなくなった時、またはテープづまりをおこした場合に点灯します。
背貼り作業前、レール内にテープが残っている場合には点滅します。

ごみ箱（赤）：ごみ箱内のハクリ紙が50冊分たまると点灯します。
ごみ箱がない場合、セットが不完全な場合に点滅します。

ハサミ（赤）：ハサミユニットがセットされていない場合に点灯します。
ハサミユニットが汚れてきた場合に点滅します。

マシン（赤）：本機が正常に動作できずに途中で停止した場合に点灯します。
フロントドアが開いている場合に点滅します。

スタンバイ（緑）：背貼りの準備が完了した場合に点灯します。
製本終了後に用紙を入れたままの場合に点滅します。
テープやハクリ紙が奥行きセンサに引っかかった場合に点滅します。

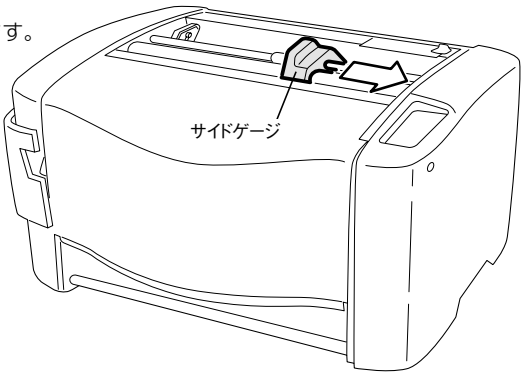
3 製本テープのセット

①電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜きます。

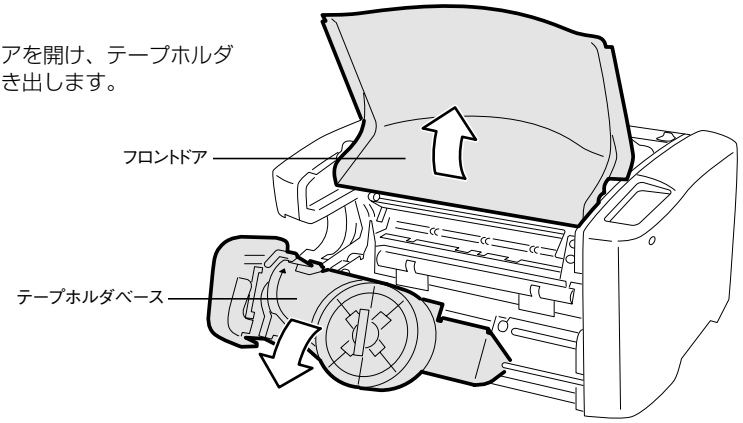
⚠ 注 意

●フロントドアを開ける前には、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

②サイドゲージを右端に移動させます。

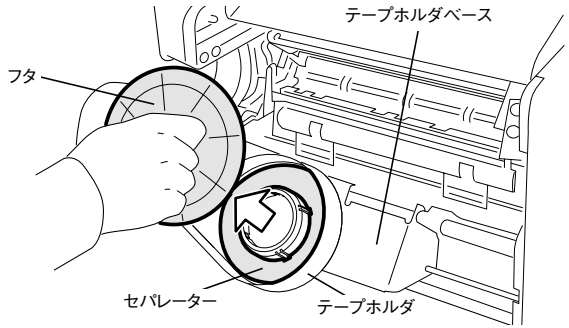


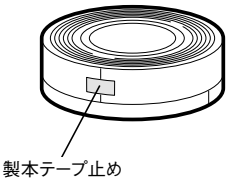
③フロントドアを開け、テープホルダベースを引き出します。



製本テープのセット

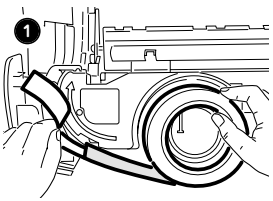
④テープホルダのフタを開けます。次に装てんする製本テープ止めをはずします。



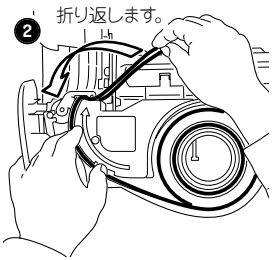


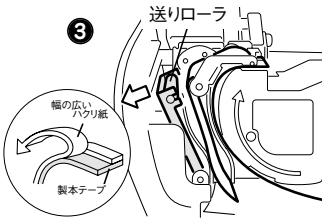
お願い
- 製本テープは専用となっております。「マックス製本テープTB-T36R」とご指定の上、マックス商品取り扱い販売店でお買い求めください。
- テープホルダ内のセパレータは外さないでください。

⑤製本テープを図のように番号順にセットします。



製本テープをテープホルダに装てんします。

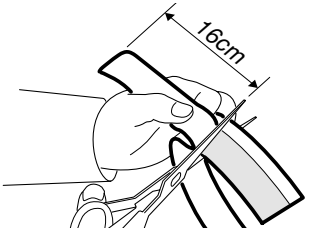




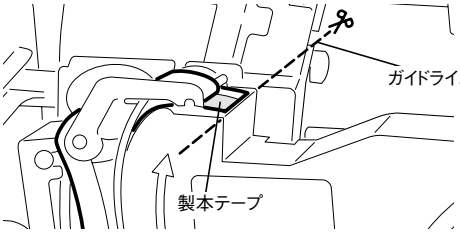
送りローラを矢印方向に動かし、幅の広いハクリ紙のみを周にはさみます。

お願い

- 製本テープを途中から使う場合は、幅の広いハクリ紙のみを16cm程度残し、製本テープを図のように切り取ります。

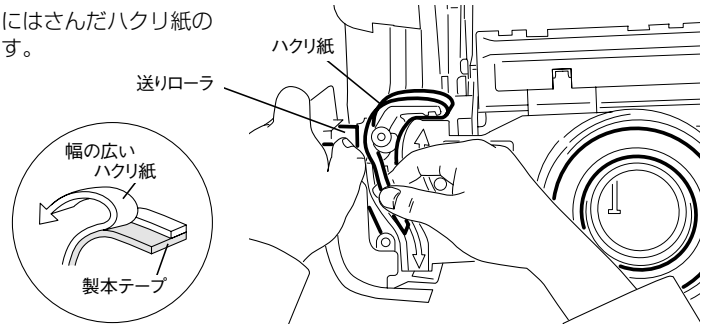


- 製本テープはガイドラインより出ないように装てんし、出すぎた場合にはハサミで切り取ってください。

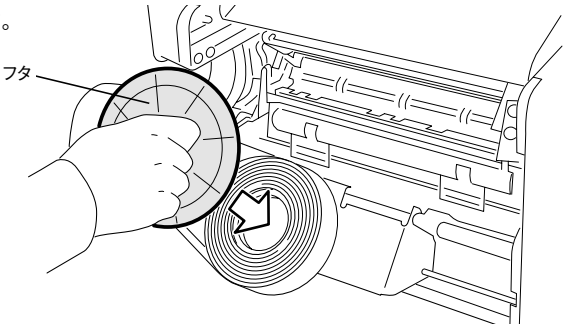


製本テープのセット

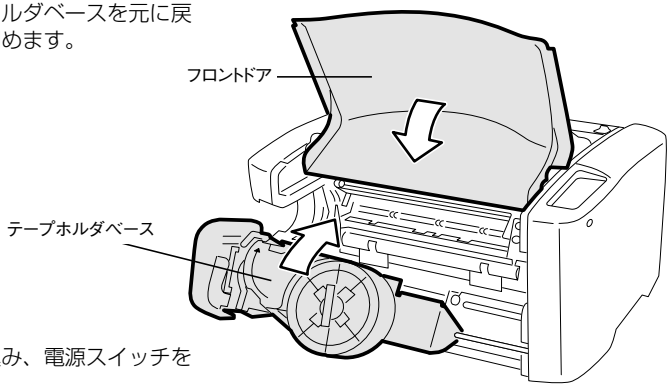
⑥送りローラーの間にはさんだハクリ紙のたるみをのばします。



⑦テープホルダのフタをしめます。



⑧引き出したテープホルダベースを元に戻しフロントドアを閉めます。



⑨電源プラグを差し込み、電源スイッチをONにします。

4 背貼りをしましょう

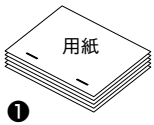
操作方法

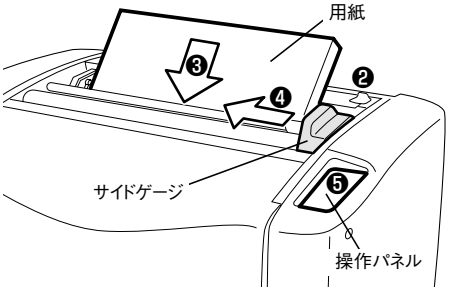
①用紙をホッチキスでとじてください。

②電源スイッチをONにし、電源の緑ランプが点灯していることを確認してください。

お願い 電源スイッチをONにする時は、用紙挿入口から用紙を取り除いてください。

③用紙を図のように機械の挿入口左端にそってさしこみます。



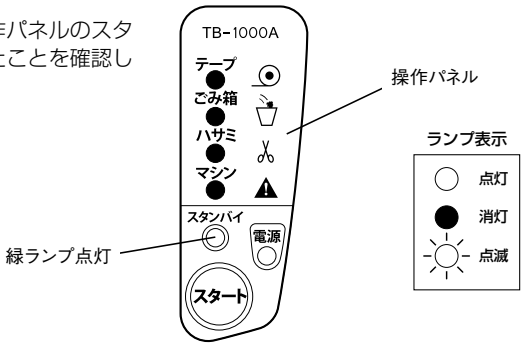


お願い 本機は背貼り専用です。あらかじめホッチキスで書類をとじてください。

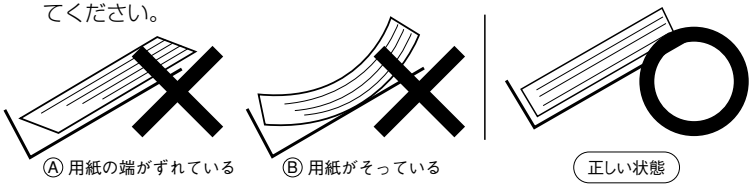
④サイドゲージを用紙の右端まで移動させ用紙サイズをセットします。

メモ サイドゲージが用紙に軽く触れることで自動的にサイズが決められます。

⑤セットが終わりましたら操作パネルのスタンバイの緑ランプが点灯したことを確認しスタートボタンを押します。

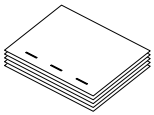


お願い 用紙の端がそろっていない場合や用紙がそっている場合は、スタンバイの緑ランプが点灯しない場合がありますので、用紙はしっかりと揃えてから用紙挿入口に入れてください。

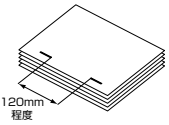


メモ

・背貼りが終了するとスタンバイランプの緑ランプが点滅して知らせます。用紙を取出してください。
・フラットクリンチタイプのホッチキスで書類をとじたり、3ヶ所とじにするとよりきれいな仕上りになります。



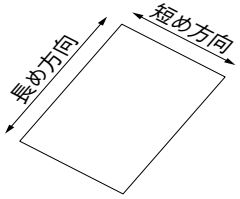
・2ヶ所とじの場合はホッチキスの間隔を120mm程度あけてとじるときれいに仕上ります。



参照 背貼り終了後、用紙を取出してもスタンバイランプ（緑）が点滅している場合は、本機内部にテープが貼り付いている可能性があります。
「テープ貼り付きの直しかた」（24ページ）を参照してください。

お願い

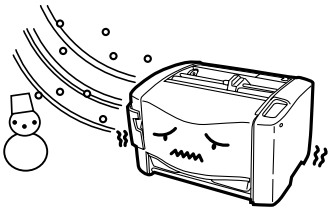
・背貼りできる枚数はコピー紙（55kg）6～100枚（厚さ7.5mmまで）です。枚数が少ないと貼り付きなどトラブルの原因となりますので、必ず指定範囲でご使用ください。
・本機で使用可能なサイズはA4の短い方向（210mm）～A4の長い方向（297mm）までです。



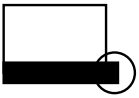
〈使用可能サイズ〉

使用サイズ	長め方向	短め方向
A5	○	―――
B5	○	―――
A4	○	○
B4	―――	○

・温度（15℃未満）の低いところでは粘着力が低下してうまく貼り付かない場合があります。



5 テープの長さ調整



1.用紙の右側の調整

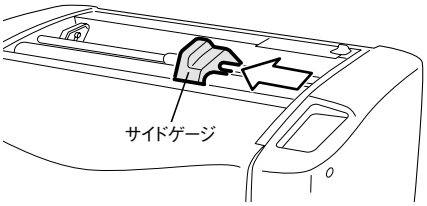
長さ調整をする場合は下記の手順で行ってください。

①電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜きます。

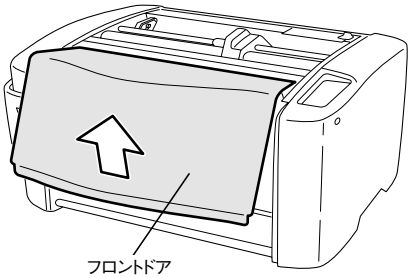
⚠ 注 意

●フロントドアを開ける前には、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

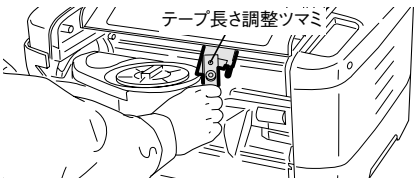
②サイドゲージを中央に移動させます。



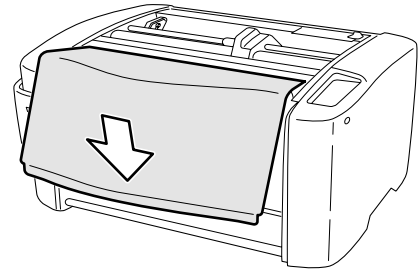
③フロントドアを開けます。

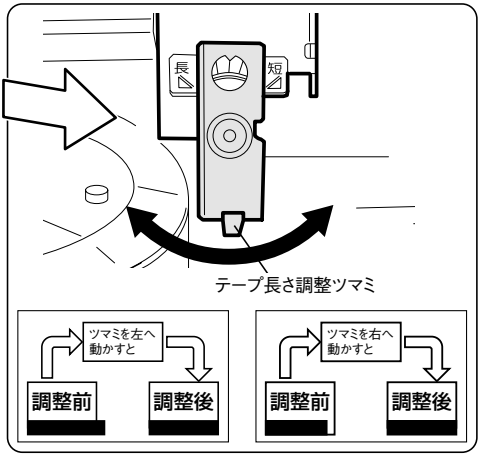


④調整ツマミを動かして調整します。（ひと目盛でテープ長さは約1mm変化します。）



⑤フロントドアを閉めます。

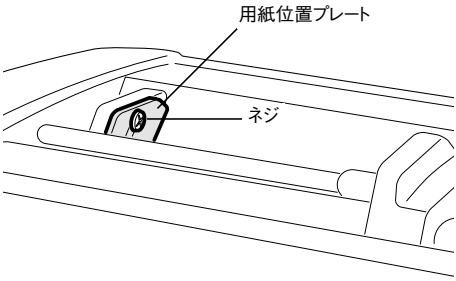




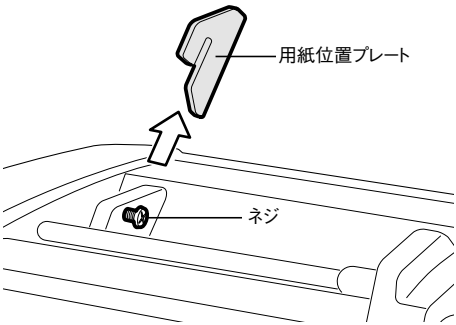
⑥電源プラグを差し込み、
電源スイッチをONにします。

2.用紙の左側の調整

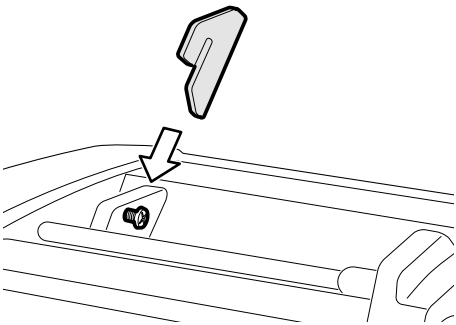
ネジをゆるめ用紙位置プレートの枚数を変えて調整します。（用紙位置プレート1枚でテープ長さは約1mm変化します。）調整後はネジをしっかり締めてください。



■テープを短くする場合
ネジをゆるめ用紙位置プレートをはずすとテープは短くなります。



■テープを長くする場合
ネジをゆるめ付属の用紙位置プレートをはさみ込むとテープは長くなります。



メモ
・テープの長さはテープの始まりや終りなどテープの状態によって多少変化しますので、必要に応じて調整を行なってください。
・調整後もテープの状態によって、多少のズレが発生する場合があります。

6 テープの赤ランプが点灯したら

テープづまりの直しかた

操作パネルのテープの赤ランプが点灯したときは、テープの残量が不足しているかテープ送りが正しく行えない場合です。
テープの残量が不足している場合は、新しい「マックス製本テープTB-T36R」と交換してください。

テープ送りが正しく行えない場合は、以下の方法で製本テープをセットしなおしてください。

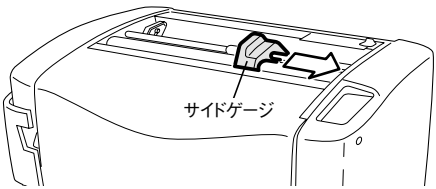
参照 「製本テープのセット」（8ページ）

①電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜きます。

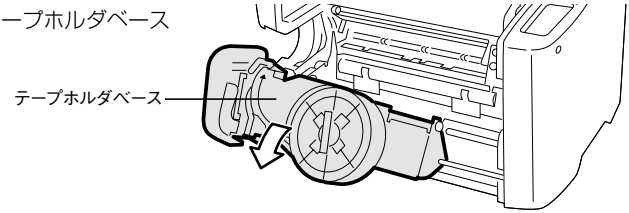
⚠ 注 意

●フロントドアを開ける前には、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

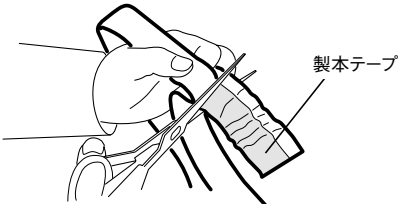
②サイドゲージを右端に移動させ用紙をとり出します。



③フロントドアを開け、テープホルダベースを引き出します。



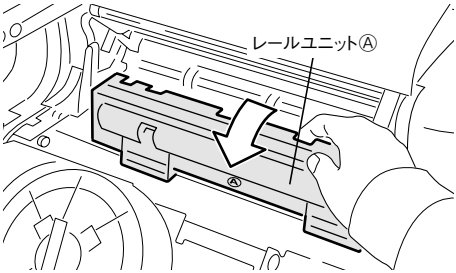
④製本テープを取り出しクシャクシャになった部分のテープを図のように切り取ります。



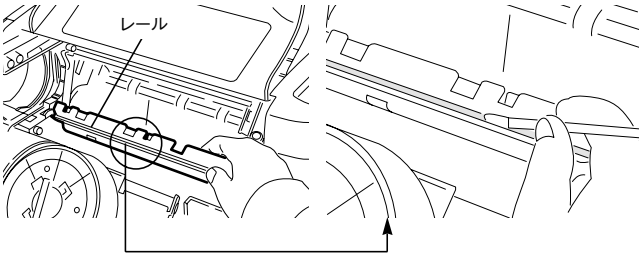
テープづまりの直しかた

お願い テープづまりやテープの送りが悪い場合には、レール及びテープホルダに以下の方法でシリコングリスを少量塗ってください。

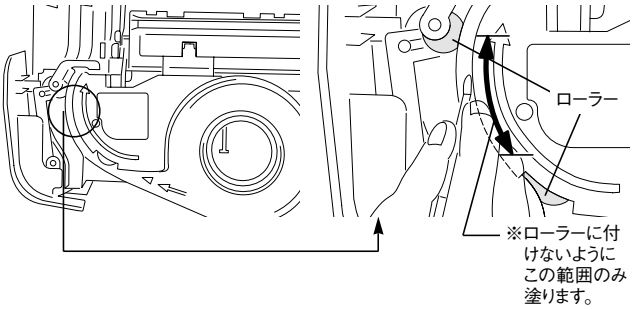
⑤ブルーのレールユニットⒶを手前に倒します。



⑥白いレールのミゾに筆でシリコングリスを少量塗り、ブルーのレールユニットⒶを元の位置に戻します。



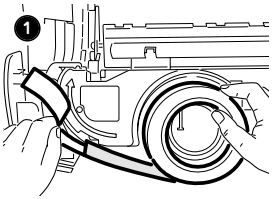
⑦製本テープを取り出してテープの通るミゾに筆でシリコングリスを少量塗ります。この時、ローラーにシリコングリスが付かないようにしてください。



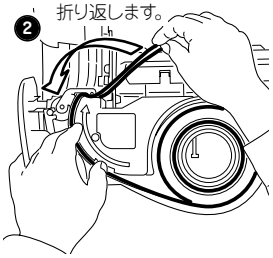
お願い ・シリコングリスは過量にぬらないでください。製本物に付くおそれがありますので必ず試し貼りをしてください。

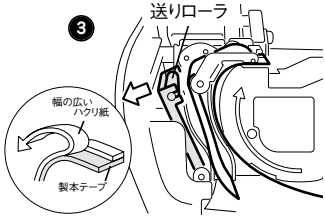
テープづまりの直しかた

⑧図のように番号順にセットします。



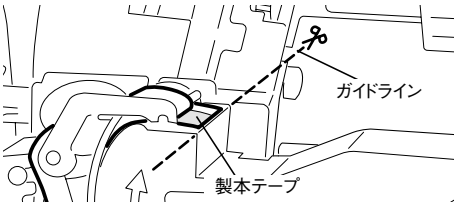
製本テープをテープホルダに装てんします。



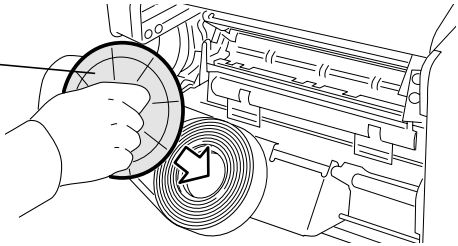


送りローラを矢印方向に動かし幅の広いハクリ紙のみを間にはさみます。

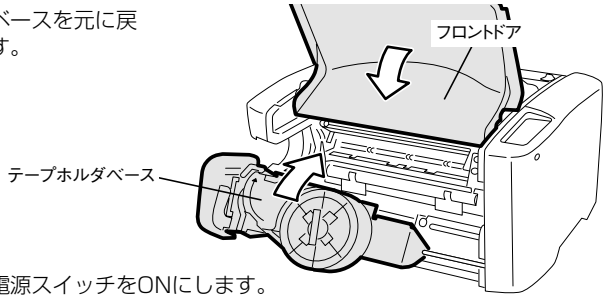
お願い 製本テープはガイドラインより出ないように装てんし、出すぎた場合にはハサミで切り取ってください。



⑨テープホルダのフタをしめます。



⑩引き出したテープホルダベースを元に戻しフロントドアを閉めます。



⑪電源プラグを差し込み、電源スイッチをONにします。

7 テープの赤ランプが点滅したら

テープ残りの処理

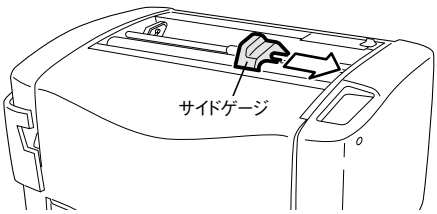
操作パネルのテープの赤ランプが点滅しているときは、レールユニットⒶ内にテープが残っています。(動作中に用紙を抜いてしまった場合等に点滅します。)以下の手順で処理してください。

①電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜きます。

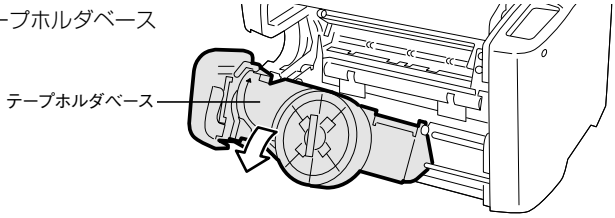
⚠ 注 意

●フロントドアを開ける前には、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

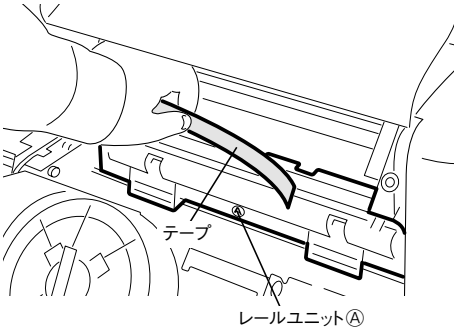
②サイドゲージを右端に移動させ用紙をとり出します。



③フロントドアを開け、テープホルダベースを引き出します。

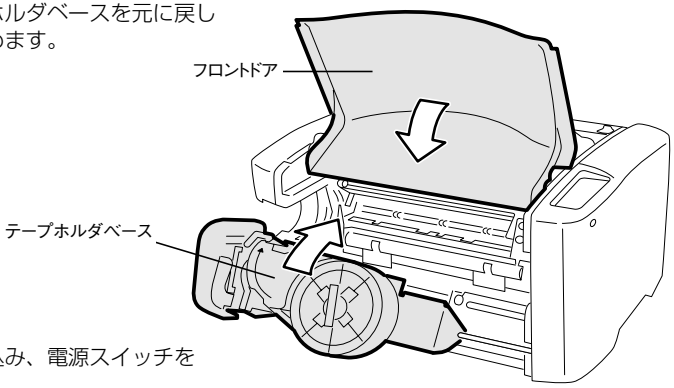


④レールユニットⒶ内に残っているテープを取り除きます。



テープ残りの処理

⑤引き出したテープホルダベースを元に戻し
フロントドアを閉めます。



⑥電源プラグを差し込み、電源スイッチを
ONにします。

8 ゴミ箱の赤ランプが点灯したら

ハクリ紙の処理

・操作パネルのごみ箱の赤ランプが点灯しているときは下記の手順で処理してください。

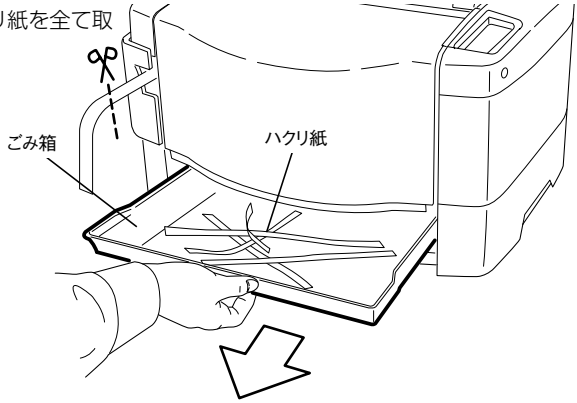
メモ　・ごみ箱内にハクリ紙が50冊分たまると動作しなくなります。

①電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜きます。

⚠ 注 意

●ごみ箱を開ける前には、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

②ごみ箱を引き出し、中のハクリ紙を全て取り除いてください。



③ごみ箱を確実に閉めます。

④電源プラグを差し込み、電源スイッチをONにします。

⑤ごみ箱の赤ランプが消えていることを確認してください。点滅している場合は、ごみ箱が正しくセットされていないので確実に奥まで押しこみセットしてください。

お願い　・本機は左前面からもハクリ紙が排出されます。
適当な長さでハサミ等で切って処理してください。
・ハクリ紙はフロントドアにはさまない様にしてください。

9 ごみ箱の赤ランプが点滅したら

操作パネルのごみ箱の赤ランプが点滅しているときは、ごみ箱が正しくセットされていない場合や、ごみ箱が外された状態です。

お願い ごみ箱を外したまま使用することはできません。
確実に奥まで押し込みセットしてお使いください。

10 ハサミの赤ランプが点灯したら

操作パネルのハサミの赤ランプが点灯しているときは、ハサミユニットが正しくセットされていません。正しくセットしなおしてください。

参照 「ハサミの清掃のしかた」(P21.22.23)

11 ハサミの赤ランプが点滅したら

ハサミの清掃のしかた

操作パネルのハサミの赤ランプが点滅しているときは、ハサミの清掃時期です。下記の手順でハサミを清掃してください。
点滅したまま50冊以上作業を続けるとマシンの赤ランプが点灯し、ハサミを清掃するまで動作しなくなります。

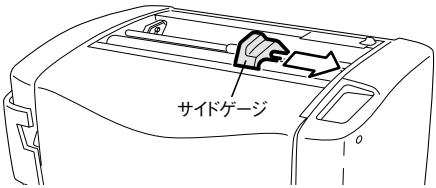
①電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜きます。

⚠ 注 意

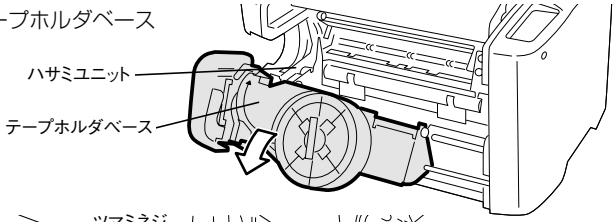
●フロントドアを開ける前には、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

ハサミの清掃のしかた

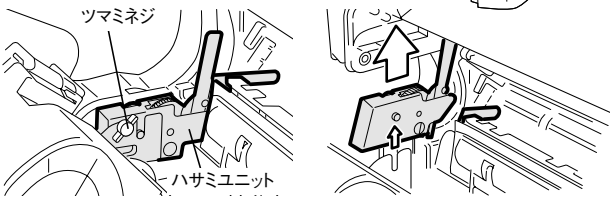
②サイドゲージを右端に移動させます。



③フロントドアを開け、テープホルダベースを引き出します。



④ハサミユニットのツマミネジを指で外してハサミユニットを取り外します。



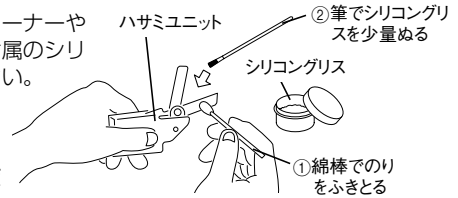
⚠ 警 告

●<u>ハサミを本体に取り付けたまま清掃しない</u>でください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

⚠ 注 意

●<u>ハサミの刃先に直接指を触れない</u>でください。
けがの原因になります。

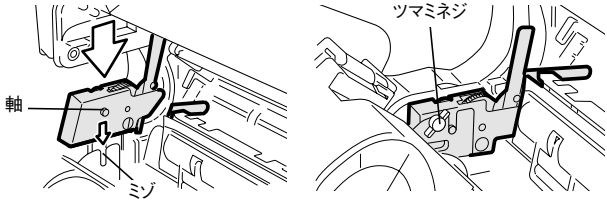
⑤ハサミユニットの刃についたのりを綿棒にＯＡクリーナーやアルコール等をつけてきれいに拭き取ってから、付属のシリコングリスを筆で少量刃の部分に薄く塗ってください。



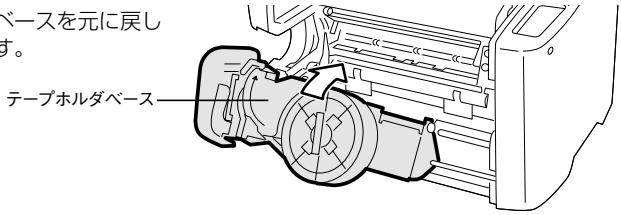
お願い
- アルコール等は本体にはつけないようにしてください。
- シリコングリスは過量に塗らないでください。製本物に付くおそれがありますので必ず試し貼りをしてください。

ハサミの清掃のしかた

⑥ハサミユニットの軸をミゾにそってセットし、ツマミネジでしっかりと取付けます。



⑦引き出したテープホルダベースを元に戻してフロントドアを閉めます。



12 マシンの赤ランプが点灯したら

操作パネルのマシンの赤ランプが点灯した場合は、本機が正常に動作できない場合です。
一度電源スイッチをOFFにしてから再度ONにしてください。
再びマシンの赤ランプが点灯する場合は、修理が必要です。

参照 「保証書とアフターサービス」（29ページ）

13 マシンの赤ランプが点滅したら

操作パネルのマシンの赤ランプが点滅しているときは、フロントドアが開いている場合です。
正しく閉めなおしてください。

14 スタンバイの緑ランプが点滅したら

貼り付きの直しかた

操作パネルのスタンバイの緑ランプが点滅しているときは、製本動作が完了しています。

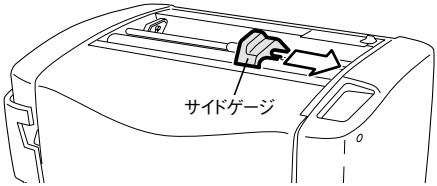
用紙が取り出せない場合や、用紙を取り出してもスタンバイの緑のランプが点滅したままの場合には、テープが本機内部に貼り付いています。
下記の手順で貼り付いたテープやハクリ紙を取り除いてください。

①電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜きます。

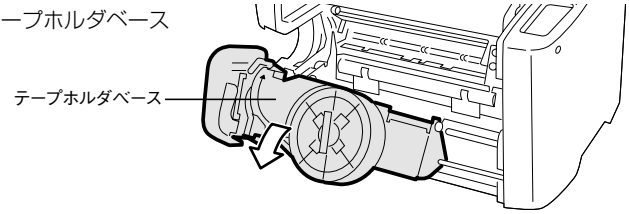
⚠ 注 意

●フロントドアを開ける前には、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

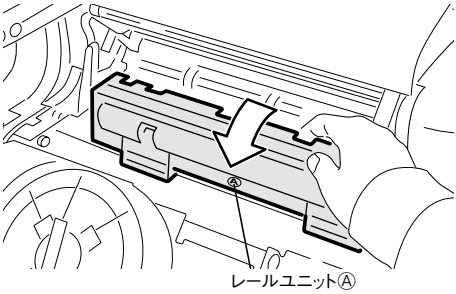
②サイドゲージを右端に移動させます。



③フロントドアを開け、テープホルダベースを引き出します。

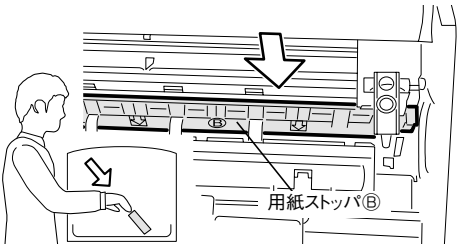


④ブルーのレールユニットⒶを手前に倒します。



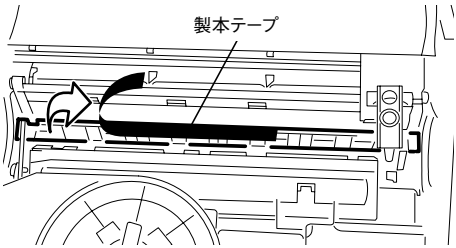
貼り付きの直しかた

⑤ミドリの用紙ストッパⒷを図のように矢印の方向に押し込みます。

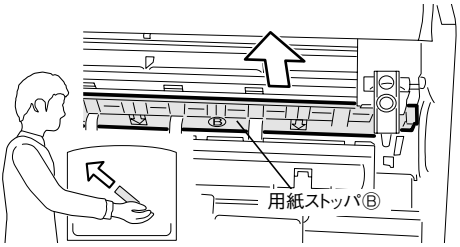


⑥貼り付いた製本テープをゆっくりと指で取り除きます。

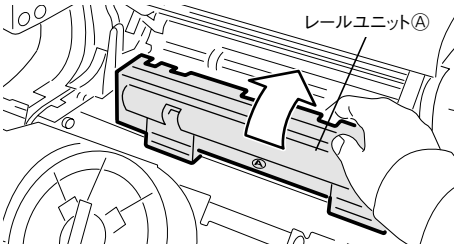
お願い テープが裏面に巻き込んで貼り付いている場合がありますので必ず完全に取り除いてください。ベタ付くような場合はOAクリーナー等できれいにふきとってください。



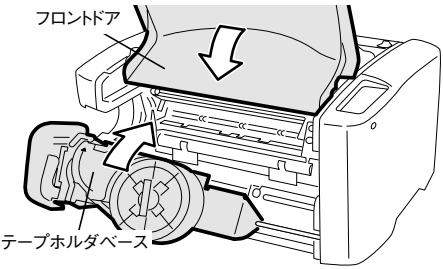
⑦ミドリの用紙ストッパⒷを確実に引き上げてください。



⑧ブルーのレールユニットⒶを元に戻してください。



⑨引き出したテープホルダベースを元に戻してフロントドアを閉めます。



⑩電源プラグを差し込み、電源スイッチをONにします。

15 こんなときは？

以下の現象は、故障と思われる前に下記の点検項目をご確認ください。下記の対処で直らない場合は、故障の可能性があります。巻末の当社営業所、もしくはサービス会社へご連絡ください。

現象	点検項目	原因と対処
用紙を差し込み、スタートボタンを押しても、機械がまったく動かない。	操作パネルの電源の緑ランプが点灯していますか？	点灯していなければ、電源が入っていません。電源プラグを本体側、コンセント側の順で差し込み、本体の電源スイッチをONにしてください。
	操作パネルのスタンバイの緑ランプが点灯していますか？	点灯していなければ、用紙が奥まで入っていないか、もしくはサイドゲージが用紙の右端に合っていません。用紙を奥まできちんと差し込み、サイドゲージ用紙の右端にぴったりと合わせてください。
	操作パネルのスタンバイの緑ランプが点滅していますか？	背貼り完了の状態です。用紙を取り出してください。 用紙を出せない場合や取り出しても点滅が消えない場合は、テープが本機内部に貼り付いています。 参照 24ページ
	操作パネルのごみ箱の赤ランプが点灯していますか？	ごみ箱にハクリ紙が50冊分たまりました。ごみ箱を開けて、中のハクリ紙を捨ててください。 参照 20ページ
	操作パネルのごみ箱の赤ランプが点滅していますか？	ごみ箱が正しくセットされていません。正しくセットしなおしてください。 参照 21ページ
	操作パネルのハサミの赤ランプが点灯していますか？	ハサミユニットが正しくセットされていません。正しくセットしなおしてください。 参照 21ページ
	操作パネルのハサミの赤ランプが点滅していますか？	ハサミの清掃時期です。ハサミを清掃してください。 参照 21ページ

現象	点検項目	原因と対処
用紙を差し込み、スタートボタンを押しても、機械がまったく動かない。	操作パネルのマシンの赤ランプが点灯していますか？	本機が正常に動作できない状態です。一度電源スイッチをOFFにしてから再びONにしてください。 参照 23ページ
	操作パネルのマシンの赤ランプが点滅していますか？	フロントドアが閉まっていません。正しく閉めなおしてください。 参照 23ページ
機械は動くが、製本テープが貼れない。	操作パネルのテープの赤ランプが点灯していますか？	
	製本テープの幅の広い方のハクリ紙が送りローラにセットされていますか？	製本テープの幅の広い方のハクリ紙が送りローラにセットされていないと製本テープが送られません。ハクリ紙を送りローラにセットしてください。 参照 8ページ
	製本テープのテープ残量が少なくなっていませんか？	製本テープの残量が不足しています。新しい「マックス製本テープTB-T36R」と交換してください。 参照 8ページ
	フロントドアを開けると、製本テープがクシャクシャになっていませんか？	製本テープの送り不良です。レールに付属のシリコングリスを少量塗り、製本テープを再セットしてください。 参照 15ページ
	製本テープが途中まで送られて止まっていませんか？	製本テープの送り不良です。テープホルダに付属のシリコングリスを少量塗り、製本テープを再セットしてください。 参照 15ページ

現象	点検項目	原因と対処
機械は動くが、製本テープが貼れない。	操作パネルのテープの赤ランプが点灯していますか？	
	製本テープは専用のものをお使いですか？	「マックス製本テープTB-T36R」をお使いください。市販製本テープでのご使用はできません。
製本テープがうまく貼れない。	操作パネルのハサミの赤ランプが点灯していますか？	ハサミユニットの清掃時期です。ハサミユニットを清掃してください。 参照 21ページ
	寒い部屋などでお使いではないですか？	製本テープは粘着剤を使用していますので、温度の低いところでは粘着力が低下してうまく貼り付かない場合があります。なるべく暖かいところでご使用ください。（使用温度15℃～40℃）
用紙が取り出せない。	6枚未満で製本していませんか？	用紙の厚さが薄すぎたため、製本テープが、機械内部に貼り付いています。貼り付いたテープを除去してください。除去後は指定枚数の範囲（上質紙55kg紙6～100枚）でご使用ください。 参照 24ページ
用紙の長さに製本テープの長さが合っていない。	テープの長さ調整をしましたか？	製本テープの始めと終わりでは若干貼られる長さが異なります。テープ長さの調整を行ってください。 参照 13ページ
用紙が機械内に落ちてしまう。	ミドリの用紙ストッパⒷが押し込んだ状態になっていませんか？	ミドリの用紙ストッパⒷを引き上げてください。 参照 25ページ

16 主な仕様

商 品 名	マックス電子製本機　TB-1000A
背貼能力	コピー用紙（55kg紙）6～100枚　　厚さ7.5mmまで
背貼速度	8秒以内/回
製本方式	モータードライブリンク機構、自動送り方式
用紙サイズ	210mm～297mm、奥行き120mm以上
外形寸法	（幅）491×（高さ）292×（奥行き）415mm （サイドゲージ、コード除く）
重　　量	17.5kg（製本テープ含まず）
消費電力	定格最大30W
電　　源	AC100V、50/60Hz
使用温度、湿度	温度15℃～40℃、湿度60%以内
使用テープ （別売り）	「マックス製本テープ　TB-T36R」 （クロ・コン・ミドリ・アカ・シロ・契印用）
付 属 品	製本テープ　：1ケ 用紙位置プレート　：4枚（本体セット分を含む） シリコングリス　：1ケ お客様登録カード兼保証書：1枚 電源コード　：1ケ 取扱説明書　：1冊 筆　：1本

17 保証書とアフターサービス

■保証書について

●保証書期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。保証期間後の修理はお買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

●お客様登録カード：お買い上げ後、必ずインターネットにて登録または、お客様登録カードに必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてご返送ください。

■アフターサービスについて

●お求めの販売店、当社営業所、またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー(株)にご相談ください。

●持ち込み修理：修理品を販売店、またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー(株)窓口にお持ち込みください。

MEMO

修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。

お客様相談ダイヤル：0120-510-200

又は、有料ダイヤル 03-3669-6786

＊携帯電話からは、有料ダイヤルにお電話ください。

〈月～金曜日（祝日・当社指定休日を除く）9：00～18：00〉

＊ナンバーディスプレイを利用しています。

URL：http://www.max-ltd.co.jp/op/

MAX® マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8108㈹
支店・営業所		
札幌支店	〒060-0041 札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002 仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121㈹
新潟支店	〒955-0081 三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2140㈹
東京支店	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8141㈹
名古屋支店	〒462-0819 名古屋市北区平安2－4－87	TEL(052)918-8619㈹
大阪支店	〒553-0004 大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035 広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006 福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824 盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541㈹
長野営業所	〒399-0033 松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377㈹
静岡営業所	〒422-8036 静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL(054)237-6116㈹
販売関係会社		
埼玉マックス㈱	〒331-0823 さいたま市北区日進町3－421	TEL(048)651-5341㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822 横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061 金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971 岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056 高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599㈹
マックスエンジニアリング&サービスファクトリー（株）		
本社・高崎サービスステーション	〒370-0031 高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820㈹
札幌サービスステーション	〒060-0041 札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487㈹
仙台サービスステーション	〒984-0002 仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778㈹
東京サービスステーション	〒190-0022 立川市錦町5－17－19	TEL(042)548-5332㈹
名古屋サービスステーション	〒462-0819 名古屋市北区平安2－4－87	TEL(052)918-8624㈹
大阪サービスステーション	〒553-0004 大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815㈹
広島サービスステーション	〒733-0035 広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670㈹
福岡サービスステーション	〒812-0006 福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430㈹

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。